

青少年を中心に、今年も国際協力について考える「国際協力月間」を開催し、子どもから大人まで多くの方が参加しました。その一部を紹介します。

第8回とよはし地球体験学校

協力:JOCA中部、Happy Beat、対象:小学生～高校生

会場◎8月3日 こども未来館ここにこ、6日 穂の国とよはし芸術劇場PLAT

青少年が国際理解を深め、世界に興味を持ってもらうため、アフガニスタン出身の岡マリナ、ソライヤ・ラジャブ・アリ両氏とHappy Beatを講師に迎え、体験型授業を開催しました。延べ52名の小学生～高校生が参加しました。

～2日間のプログラム～

- [社 会] スリランカを知ろう!
シンハラ語に挑戦
- [家庭科] アフガニスタン料理教室
～ボラニ、ドガ、フルーツゼリー～
- [図 工] アフリカのお面を作ろう
- [音 楽] 練習なし!経験なし!
アフリカの太鼓、
ジャンベ体験



「初めて作ったアフガニスタン料理
おいしくてビックリしたよ!」



元気に楽しくジャンベを叩いて笑顔になりました。

国際協力映画上映会 8月11日

「デュカリの夢」「クロスロード」

【参加者の感想】

- ひとつの困難を乗り越えることによって世界が広がると思った。
- フェアトレードは聞いたことはあったが、品物が高いので買わずにいた。しかし、買うことによって困難な人たちを支援できるのなら買ってみようと思った。
- 青年海外協力隊(JICA)に参加している友人が多いので活動についてわかりやすかった。
- JICAについて考えさせられるいい映画でした。

国際協力写真展 8月1日～31日

- ①「草の根・人間の安全保障無償資金協力」外務省国際協力局
- ②「世界で活躍しているJICAボランティアの活動風景」JICA中部






写真パネルを同時展示し、期間中は、多くの来場者で賑わいました。



シニア海外ボランティア報告会 ～私の見たボリビアの日系社会～ 8月25日(土) 講師:竹内加代さん

南米ボリビアのオキナワ村へ保健師として2年間赴任した、「実際の体験」や「日系社会でボランティアとして感じた想い」、をお話いただきました。参加者から、JICAボランティアの待遇や危機管理について具体的で率直な質問が活発に出されました。

生活にフイックオリティ

美しく快適な人間空間づくりを通し、
地域社会から信頼される企業グループとして、
豊かな社会の実現をめざします。

中部ガス株式会社

ゆかたの着付け

6月17日(日)豊橋市国際交流協会にて第1回日本文化教室「ゆかたの着付け」教室が開催されました。

東海着物カルチャー学院長・伊藤わかよ先生と9人のボランティアさんの指導のもと、23人の外国人(ブラジル12人、フィリピン9人、スリランカ1人、香港1人)がゆかたの着付け方を習いました。

参加者からは、「自分でゆかたを着られて、夢のようでした」、「日本の文化が大好きで、もっと勉強したい」等、多くの感想が寄せられました。



先生のデモンストレーション



自分で帯を結ぶ練習



先生方と参加者の集合写真

ふろしきラッピング

8月19日(日)豊橋市国際交流協会にて、第2回日本文化教室が開催されました。

「ゆかたの着付け」教室の伊藤わかよ先生と4人のボランティアさんの指導のもと18人の外国人(ブラジル16人、ペルー1人、香港1人)にふろしきラッピングを教えていただきました。

参加者からは、「素晴らしい!何でもふろしきで包めます」、「バッグやリュックにもなるなんて、すごい便利です」、「日本の文化はとても素敵です。もっともっと勉強したいです」等、多くの感想が寄せられました。



ペットボトルフォルダ、帽子、リュックにもなります



ふろしき教室の様子

地元とともに70年 感謝の気持ちでこれからも



<http://www.gamashin.co.jp/>



理事長 竹田知史

〒443-0056

蒲郡市神明町4番25号

TEL 0533-69-5311

「とよしん」は、ずっとこの街といっしょです。



おたくも うちも

豊橋信用金庫

会長 吉川 一弘

理事長 山口 進

豊橋市小畷町579番地 ☎(0532)52-0321(代)
<http://www.toyo-shin.co.jp>